

農林水産省では、関係省庁とも連携しつつ、開発途上国の自立的な経済発展を支援するため、さまざまな形態による農林水産分野の協力を行っています。

在外公館（書記官）

- ・ 外交官としての様々な任務
- ・ ODA(政府開発援助)の企画・実施管理、農産物交渉の調整等

JICA専門家

- ・ 現地政府機関等の政策アドバイザー
- ・ 技術協力プロジェクトの専門家（灌漑、水管理等）

国際機関

- ・ 各国際機関の職員として、飢餓、水不足等の世界的な問題の解決に向けた支援

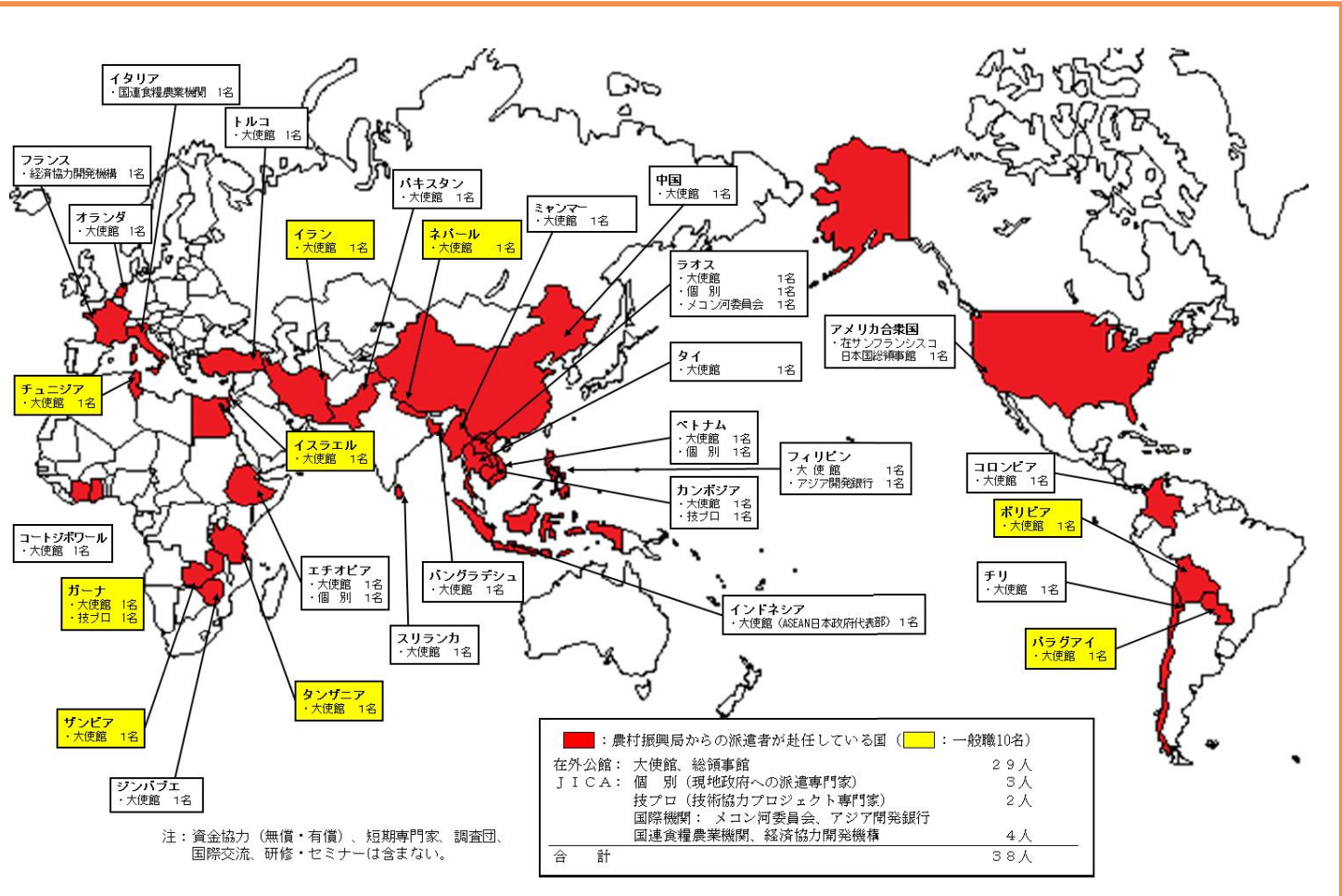


海外派遣の条件

	語学力	研修制度
在外公館書記官	TOEIC730点以上	外務省が実施する研修3か月
JICA専門家	TOEIC730/640点以上	専門家赴任前研修2か月

農村振興技術者の派遣状況

○令和5年7月現在、**31ヶ国、38人が海外で活躍。**
(2023年7月20日時点)





在外交官（書記官）

派遣先：在ボリビア日本国大使館
派遣期間：3年を予定（2022年3月～）

かとう としひろ
加藤 俊宏

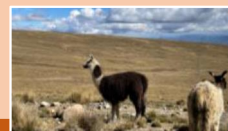
仕事内容：開発協力(ODA)の企画・実施。
主要道路整備等の大型案件ほか、地域の要望を受けた農業用水、上水道、学校の建設、医療機材の供与などきめ細やかな支援を実施。

海外での生活について

地球の裏側にある南米は、気候はもちろん、挨拶・食べ物・遊びなどが全く違う！

ボリビアは多民族国で、伝統的な先住民文化がみられます。

田舎にはリャマがたくさんいますよ。



海外を希望した理由と働いた感想

友人の海外での活躍ぶりを見て、今こそ！と突然奮起。大使館では、開発協力業務のほか、外交パーティでの交流や日本イベントの開催など特殊な経験ができています。

水道が無かったアンデス高地の村に日本が建設した上水道施設。この地に通った水に触れ、歓喜に沸いた地域の首長や住民と。



JICA専門家

派遣先：カンボジア
派遣期間：2.8年(2016年8月-2019年5月)

いしかわ まさゆき
石川 将之

仕事内容：JICA専門家として、カンボジア流域水資源利用プロジェクトに携わり、流域の基礎データを得るための観測所の設置と農民水利組合の能力強化活動を行いました。

海外での生活について

勤務地の首都プノンペンには吉野家、丸亀製麺といった日本食店、またイオンモールがあり、とても暮らしやすかったです。アンコールワットや周辺国へ旅行することも出来、見聞を広めることができました。

海外を希望した理由と働いた感想

海外ならではの体験を希望していました。水利組合強化では実際に稲作収量を上げる組合もあり、事業の成果を見る事ができ非常に遣り甲斐を感じる得難い経験でした。

プロジェクトカウンターパートの水資源気象省の技官と水位観測所の出来形と図面を確認している様子（左端）。



東海農政局では、豪雨、洪水、暴風、地震、渇水等の異常な自然現象により、被害を受けた農地・農業用施設を迅速に復旧し、農業生産の維持を図るとともに、農業経営の安定に寄与することを目的に災害復旧支援を推進しています。

MAFF - SAT（農林水産省サポート・アドバイス・チーム）

農地・農業用施設が被災した際、被災自治体に農政局職員を派遣し、迅速な被害の把握や早期復旧を支援しています。



豪雨により被災した農業集落排水処理施設（R5年6月）

MAFF-SATによる災害支援の様子（R5年6月）

災害査定

災害で壊れた農地や農業用施設を所管する県や市町村から申請を受け、農政局職員が被災した現場に赴き、復旧のための工法や費用を審査する。



農地・農業用施設に対する
災害査定の様子（R5年12月）

東海農政局では、災害応急用ポンプや排水ポンプ車の被災地派遣も行っています。

排水ポンプ車の設置（R5年6月）▶



▲排水ポンプ設置状況
（R5年6月）



MAFF-SATについてはこちら
(<https://www.maff.go.jp/tokai/noson/bosai/maffsat.html>)

▲排水ポンプ車